

ひろば大代

NO.346

大代公民館

H20.5.23

春の大江高山登山

大田森林事務所

森林管理官 井上正夫

春の大江高山登山ご苦労様でした。
この4月から島根森林管理署大田森林事務所に赴任しました井上と言います。森林管理署といってもあまり馴染みがないと思いますが、この記事を見て少しでも覚えてもらえれば幸いです。
大田市と出雲市の一部の国有林を管理しており他のイベントなどで会う機会もあると思いますので気軽に声をかけてください。

この春の大江高山登山は大代高山会が主体となり毎年行われており、私も初めて参加させてもらいました。天候も雨が降りそうでしたが、皆さんの日頃の行いのおかげか、何とかもち、怪我也無く無事に終了する事が出来まし

た。残念ながらギフチョウの姿を見ることは出来ませんでした。山頂まで登る道沿いに咲く、きれいな草花や山頂から見る壮大な景色にそれまでの疲れを忘れ楽しませてもらいました。

山を歩く仕事ですが、なかなか木や植物の名前を覚えられず苦労しています。今回は三瓶自然館の井上さん達と



一緒に歩かせていただき、いろいろ教えていただきました。一度にたくさんは覚えられませんので、イズモコバイ

モ、ミヤマカタバミ、ミスミソウの3種を覚えました。来年はスミレの花がたくさん咲いていたのでそれにチャレンジしたいと思います。

今年ギフチ

ミスミソウ

ヨウを見ることができませんでした。近年では高価に取引されるため密猟する人が後を絶たないそうです。

一人一人はた

いたことなくても集まればすごい数になります。ギフチョウに限らず自然の物はみんなのもです。少しぐらいと言う気持ちもわかりませんが許されないことです。行政を初めとしていろいろな方の意見を取り入れながら考えなければならぬ問題です。

最後になりますが皆さんはカシナガという虫をご存じですか？

正式名称カシノナガキクイムシ、直径4.5ミリの虫が三瓶山のナラの木を枯らすとしています。この虫は、1.5



ミリの穴を開け木に侵入し、木の中で産卵。産卵後、ナラ菌を繁殖させ、それを食べて幼虫が成長します。そのナラ菌の繁殖により木が枯れてしまいます。

現在、女三瓶山から室内の池に向かう歩道沿いの被害木には白いテープが巻かれています。三瓶山にいられる機会がありましたらそのあたりも見てください、何か情報がありましたらよろしくお願いします。



吹奏楽部への期待

三中一年 中垣七美

中学校では、入学して一週間程してから「一週間体験入部」があります。私は、いつも吹奏楽部に行っていて、ほかの部活は見に行きませんでした。

入部届は吹奏楽部に出しました。入部したのは、一人でした。楽器の担当は、バスタームです。ドキドキしながら楽譜を見たら読めずに、あたふたして下さって、すぐに分かるようになりました。

初舞台は、大田高校さんの演奏会のゲストとして出る事でした。入部して練習期間は、一週間だったので緊張したけど無事に終って成功しました。今度は、コンクールがあるので練習を頑張っています。いい演奏になるといいです。

中学校の生活

三中一年 和田吉生



四月九日からぼくは中学生になり、新しい生活がスタートしました。最初の内はあまり、小学校生活と変わりはありませんでしたが、二、三日すると授業が本格的に始まり、部活見学をするようになりました。

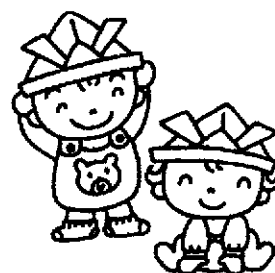
今、部活は野球部に入っています。

勉強の方は難しく、しかも今までより量が多いので帰ったらすぐ倒れてしまいます。でもどれも楽しいことで一杯です。

早く生活に慣れて楽しい中学校での生活を過ごしたいです。

大代小学校に復帰して

小学校教諭 永瀬 博子



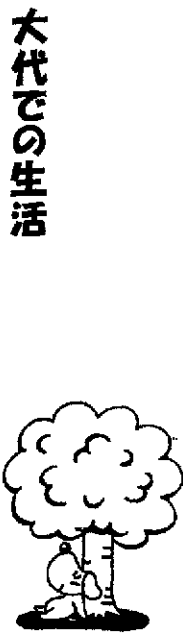
六年間育児休暇で休んでいましたが、四月から大代小学校に復帰しました永瀬博子です。

六年ぶりだったので子どもたちは全員入れ替わっていて初めての子どもたちでしたが、六年前の子どもたちの弟さんや妹さんだったりして、何となく初めての気がしませんでした。メンバーが入れ替わっていても、素直で明るく何事もまじめにがんばるところは変わっていないので、すばらしいなと感じました。また、変わらないのは子

どもたちだけでなく、保護者や地域のみなさんでもした。「先生、待ってましたよ。」とか「子どもさん(私の)が小さいから大変でしょうけど、がんばってくださいね。」などと笑顔で迎えてくださり、ほっとしました。

そして、先日うれしいことがありました。それは、私が大代小学校に赴任した平成八年度当時高学年だった子どもたちが、立派な社会人となって学校に会いに来てくれたことです。教師冥利に尽きるとはこういうことをいうのではないかと思いました。

この大代小学校で復帰できて本当によかったですと思っています。どうか、これからまたよろしくお願い致します。



大代での生活

小学校講師 馬庭明正

進んでも進んでも山ばかり。僕が大代に来たときの印象は、「どこに学校があるのだろう」でした。山を抜けたら学校があり、安心しました。

そんな印象をうけた大代に来て、もう一ヶ月が過ぎました。大代のことでも教師のことも、何一つわかっていなかった僕でしたが、地域の方々や職場の先生方に温かく支えられて、徐々に大代での生活に慣れてきました。保護者の方々には授業でお世話になりましたし、歓迎会なども開いてもらいました。また、先生方には日頃、わからないことをわかりやすく教えてもらっています。嫌な顔一つされずに親切に教えてもらっているのです、とても安心して職場で生活できています。

子どもたちも素直で優しい子どもたちで、一番驚いたのは、僕が指示を出さなくても子どもたちは自分の仕事をきっちりとするところです。そんな子どもたちとともに僕自身も一緒に頑張って学んだり、遊んだり元気で明るく生活しています。

はじめは不安でしょうがなかった僕でしたが、今はまわりの人たちに支えられています。一年という間ですが誠心誠意頑張ろうと思えますので、よろしくお願いします。

「山陰道行啓録」

下市 佐藤哲朗



昨年九月に四十二年間勤めた金融機関を定年退職しました。浪人中の十一月中旬、高校時代の友人龍岩明彦君の奥さんの実家、長久町の恒松宏次氏(元島根県知事恒松安夫氏)宅の蔵で大正天皇が皇太子時代の明治四十年五月十日から六月六日まで鳥取・島根県を視察された記録「山陰道行啓録」(明治四十年九月発行)を見つけました。保存状態は良いものの発行から百年を経過し、かなり傷んでいました。

その中に五月二十九日大家(旧大代中学校)にお泊りの記録がありました。大代町の貴重な歴史であり、恒松氏の許可を得てコピーさせて頂きました。

活版印刷で百年も経過しており、コピーでは見づらいため、パソコンで画像に取り込み見やすくしました。

当時の道中の様子が詳細に記録されており一部分（大田く大家間）ではなく、全面複製をしました。中には山陰地方の企業の広告が各所にありましたが、単色カラー印刷で色が劣化している為に今回は挿入していません。



各地の奉迎の様子・産物・拝謁者・賜り物・献上品等、大変興味深いものです。大家は島根県内の宿泊地、安来・松江・今市（出雲）・大田・大家・浜田の六ヶ所の内の一つで当時の交通事情、歴史を知る為にも貴重な資料です。全部で四百二十五頁になり、印刷・製本等を外部へ委託し、公民館に保管して頂くことにしました。当時の印刷状況、パソコンの操作の不熟さもあり若干読みづらい面がありますが、今年五月二十九日で行啓百一年になります。この機会に町民の皆様も当時の事を知って頂きたいと思ってお知らせします。

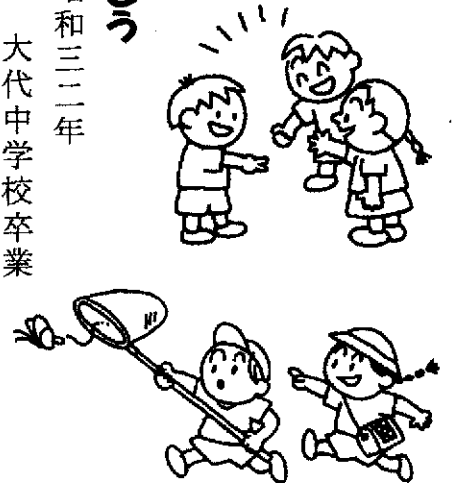
おにがとう

昭和三二年

大代中学校卒業

福岡市 佐田加代子

（旧姓 山口）



子供のころ、学校から帰ると毎日野良に出て、田畑の手伝いをしていました。そこは、八反田の中垣さんの裏を通り「おにがとう」をぬけた本郷のはずれです。子供の足では、随分と遠いところで、暗くなるまで働いていました。

大代に帰る度、一度行ってみたいと色々挑戦しました。ある時は中垣さんの裏から、又ある時は、大代小学校の裏から、柿田の部落からと、どこから分け入っても、いずれも道がなくなり竹藪で入れなくなりました。何かいい方法はないものかと思案していたと

ころ、田んぼのずつと下の方で室田昇三さん（同級生）のお母さんが、いつも一人で農作業をしている姿が小さく小さく見えていたことを思い出しました。そこで室田さんご夫妻のお世話になりました。当時の耕作地を下から見上げる事が出来ました。私の家（山口）で作っていたころから何代も地主が変り、三十年前頃から放置され誰も作らなくなつたそうです。

杉の木や竹藪、雑木が生い茂り山になつていました。あの一帯高いところが、おにがとうで城山（大獄城）と同時代で歴史に残る山、その下が屋敷跡、その下に棚田があつて畑、井戸があつて・・・と遠目に確認致しました。

子供の頃、あのようにひどい急斜面で広大な田畑を耕し家族で働いていたのだと感無量でした。何度も庭に出ては、その場所を見上げました。昔から累々と引継いだ耕地は自然に返つていきます。これから先、近い将来食料難か、何かの都合で再びこの地が必要になつた時、木の根を起し沢山の汗が流れることでしょうか。

この度、仏事で5月の連休に大代に

帰って来ました。山々は新緑でいきいきとして、美しく棚田は満々と水をたたえ田植えが始まっています。今回の帰省が最後になるかもしれない気にかかっていた用事を色々とすませました。

別れぎわに「よー帰って来んさったな」「また帰って来んさいや」「遠慮せんで泊まっていきんさいや」「また寄りんさいや」の声にんたというやさしい響きでしょう。親切な味のある、心にしみる言葉でしょう。若い頃どうしてここを離れたかったのか・・・大代から新しい力をもらい、元気になりました。又帰れたらあちこち歩いてみようと思います。

あれやこれ 山ふじに問ふ 里帰り

||グループ紹介|| 民謡「花の会」

下市 佐藤京子

民謡「花の会」は毎週月曜日一時から大代公民館で全国の民謡の踊りの練習をしています。

平成13年に大田市のサンレディで始まり、翌年から自主的に久手の花柳真次先(中村武子)にご指導を頂いております。14年には第一回の発表会を

お披露目会にて



開き、2年毎に会をしております。今年には発表会の年で市民会館で東京の本部から花柳の先生をお招きして会を開きます。東京の先生は、新潟のご出身でとても素朴で大代の人みたいな先生です。(お顔も)花柳真次先生は、女の先生で、80才を超えられています。会の中で一番若いです。10代の頃から東京に出られて踊り一筋。初めて日舞

の踊りを見せて頂いた時には言葉も感想もなくポケットとじていました。

現代のダンスは自然に体が動いていきますが、古典の日舞は歌舞伎の手が入り、踊りには型があり、慣れてくると楽になったり、楽しくなります。今では、先生から民謡を教えてもいいよと許可を頂き大代支部として、皆さんと練習をしたり踊りに出たり。

ボランティアに行かせてもらったのに、反対に、私達の張りのある楽しみにして頂いていることに気付かされる日々です。これからも、宜しく、お付き合ひ下さい。

||俳句||

あすなる句会

大田 原田万里

五月晴里の神楽を飽きず見る
母の日や子等を育てし妣偲ぶ

下市 渡 あやこ

菖蒲湯や口ついて出るわらべ唄
誕生日香り広がり薔薇届く



柿田 横手いちえ

新緑の真只中に恙なく

人知れず小草の中に春りんどう

八反田 森信子

一人居の婆の館に鯉のぼり

花冷や旅のいでたち様々に

椿 花田時子

老女医に瑞宝章や風薫る

漸くに吾が丹精の遅桜

下市 今田文字

主なき屋根より垂るる白き藤

田植機の動く響や峡の里

川上 岩田律枝

すいかづら香りて暮れる山の家

一人住み今日も薄暑の畑仕事

椿 柿丸寿枝

五月晴手の平ほどの雲浮かぶ

葉桜やにこにこ抱かれ登り来る

梅雨期がやってきます。
梅雨の災害に対する
備えは万全ですか？

大代駐在所



|| 我が家のペット自慢 ||

(柿田)

鉦 コロちゃん



よろしく

年齢 もうすぐ1歳♂
子供と とっても仲良しです。

6月行事予定

- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- * * * * *
- ▼ 1日 (日) 婦人会旅行
- ▼ 1日 (日) 社協ボランティア会議
- ▼ 8日 (日) 関西高山会総会

▼ 15日 (日) 福祉弁当

▼ 16日 (月) JA地区総代会

▼ 17日 (火) さくらんぼ教室

▼ 17日 (火) 肺がん・結核検診

▼ 22日 (日) 婦人会支部長会

▼ 23日 (月) 連合自治会

|| お知らせ ||

○ 大代地区社協より

植松 渡利信吾様から

香典返しにかえ金一封のご厚志を
頂きました。厚くお礼申し上げます。

|| 編集後記 ||

この4月に、石見観光ガイドブック
が発刊されました。題名は「石見本」
というB5サイズの23ページの冊子
です。内容は石見地方の観光地、石見
銀山を始めとするガイドブックです。
中でもお勧めは、石見地方のグルメガ
イドです。

わざわざ探してでも行ってみたい
「食べもんや」がたくさん載っていま
す。公民館内に多少置いてありますの
でお問い合わせを・・・
(M)